



KOTORIDAYORI

江東リハビリテーション病院

ことうりは便り

KOTO REHA NEWSLETTER

## CONTENTS

---

入職式

院内イベント お花見 行事食 ひなまつり

関東カマチグループ合同学術集会

部署紹介 (リハビリテーション科)

学術講演会

医療連携室から

周辺のご紹介





平成30年4月2日

# 入職式



平成30年4月2日「江東リハビリテーション病院入職式」が行われました。

今年度は看護師5名、看護補助者2名、理学療法士16名、作業療法士11名、言語聴覚士2名、リハビリテーション科クラーク1名、管理栄養士1名の総勢38名の職員を迎え入れることが出来ました。

仕事に慣れるまで不安でいっぱいかと思いますが、先輩たちの力を借りながら少しずつ仕事に慣れていただければと思います。



また2年目の新年度になりましたので、新入職員ともども力を合わせて、当グループの基本理念である「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」をモットーに成長していきたいと思いを。今後ともよろしくお願い致します。

院内イベント

# お花見



平成30年4月1日 病院近くの小名木川沿いの入院患者様の集団離床活動としてお花見を行いました。

晴天でとても過ごしやすいわやかな気候でした。お茶菓子、お茶を提供し、終始和やかな雰囲気です。昔話等にも花が咲きました。今後もリハビリテーションで在宅復帰を目標とするだけでなく、社会復帰を提案できるように、季節ごとのイベントや集団で取り組むような行事を行っていききたいと思います。





行事食

# ひな祭り

五節句のひとつ、ひな祭り御膳は「桃の節句」に因んで、桃色をテーマカラーにしています。女性患者様のテーブルからは歓声があがり、いつもより多くのお言葉をいただきました。



菱餅風プリン



ソフト食

## お品書き

- ・散らし寿司(散らし粥)
- ・菱餅プリン
- ・落と桜えびの炊き合わせ
- ・清まし汁

## 患者さまからの声

- すごくきれいですね。
  - あんまりきれいで食べるのもったいわ。
  - 目が見えない(視覚障害の方)けど味でお寿司の味のお粥ってわかります。美味しいですね。
  - 乳製品ダメって言うたら、わざわざ乳製品使わないで三色のゼリーを作ってくれたのね。
  - 入院してから1週間になります。ちゃんとお腹が空くようになりました。お粥じゃなくても大丈夫です。量も増やしてください。リハビリの先生大好きなので、だから頑張ります！
- 菱餅の三色は雪と萌える若草、桃の花を表しています。今回は三色の手作りプリンを母とミルクと抹茶の風味でどなたでも食べやすくしました。また散らし寿司は食の細い方でもペロリと、召し上がりになるほど好評でした。これからも季節の移ろいを目で、鼻で、舌で感じていただければ幸いです。◆ 栄養科一同 ◆

関東カマチグループ

# 合同学術集会



平成30年2月24日第10回関東カマチグループ合同学術大会が八千代リハビリテーション学院にて開催されました。グループ16病院、416名の参加があり当院からは栄養科、リハビリテーション科、看護部からの計3題の発表を行いました。



### 銀賞受賞

## 「キザミ食」から新たな食形態「超軟菜食」の導入

見た目も損なわず美味しく安全な食事の提供を目指してこの度、栄養科とリハビリテーション科言語聴覚士と共同演題として発表させていただきました。従来の食形態である刻み食と比べ当院が導入した超軟菜食は見た目が良く、食塊形成が容易で箸で食べられるという利点があります。研究結果より嚥食率の向上や誤嚥リスクの軽減が示唆されました。今後もステップアップを目指して頑張りたいと思います。

栄養科 島見 貴以子



### 銀賞受賞

## リハビリテーションを行う脳卒中患者のうつ評価他職種と新しい評価の共有

当院のご入院患者様の半数以上は脳卒中を患った患者様です。リハビリテーション介入を通して接する中でうつ傾向の方を多く目の当たりにします。研究を通して評価した結果、やはりうつ傾向の方が多く、回復期入院期間中に特に多くみられることが示唆されました。脳卒中後のうつはまだまだ解明されていないことが多いので今回の発表を踏まえて、より患者様に寄り添った臨床、チーム医療を行い対策を講じていきたいと考えております。

リハビリテーション科 理学療法士 尾科 洋輔





部署紹介

# リハビリテーション科



リハビリテーション科 係長 畠田 将行

リハビリテーション科 所属長の畠田将行と申します。

開院して半年が経過しましたが、3月末時点で565名にご入院して頂きました。また、ご入院頂いた患者様のうち94%の方はご自宅あるいは元の生活をなさっておられたご施設等に退院されています。在宅復帰という回復期病院の重要な役割の一端を当院が担えていることを嬉しく思います。今後もより一層多くの患者様に良質なリハビリテーションを提供して参ります。

またリハビリテーション室では、各種トレーニングマシンのほか、デジタルミラーや運転シミュレーターのなどの最新の機器を導入しており、ご家庭の環境を想定した訓練が行えるシミュレーションルームや、様々な傾斜や段差などの応用歩行訓練が行えるリハビリテーションガーデン、職業復帰に重点を置いた支援が行えるジョブトレーニングルームと充実したリハビリテーション環境を整えております。また、当リハビリテーション科は総勢160名の大所帯です。教育を重要なテーマに掲げ、療法士一同切磋琢磨してリハビリテーションの質の向上を図って参ります。



リハビリテーション科 係長 三原 啓正



# 学術講演会

## 大腿骨近位部骨折の手術療法から後療法まで

平成30年3月30日 聖路加国際病院の整形外科部長の北村信人先生にご講演を賜りました。骨折の分類から手術方法の選択、後療法について先生の治療方針やエビデンスを多く交えてお話を頂き、大変有意義な講演会でした。股関節の手術後では創部感染や転倒による再骨折、脱臼などのリスクが伴いますが、得られた知識をもとに安心安全なリハビリテーションおよび療養環境に活かしてゆきます。



## 認知症患者の睡眠と薬剤について 転倒事例の分析をふまえて

平成30年4月26日 順天堂東京江東高齢者医療センター、メンタルクリニックの笠貫浩史先生にご講演を賜りました。患者さんに十分な睡眠をとって頂くことで認知症の周辺症状を抑えられることや、薬剤の種類により朝方の転倒リスクを減少させることが可能なことなど、睡眠と薬剤について改めて考える良い機会となりました。リハビリテーションの進行にも関わることであるため、職員一同、睡眠と薬剤について更に知識を深めていきたいと思っております。





# 医療連携室から

入院に関する総合窓口業務をはじめ、入退院の調整や相談援助などの医療福祉相談業務、地域福祉機関との連携業務を行っております。  
お気軽にお尋ねください。



TEL 03-6880-1755  
FAX 03-6880-1756

相談窓口  
1階 医療連携室

月曜日～金曜日  
9:00～17:00

受付時間

江東リハビリテーション病院・周辺のご紹介



ばしょうあんしせきてんぼうていえん

## 芭蕉庵史跡展望庭園

俳聖芭蕉は、杉山杉風に草庵の提供を受け、深川芭蕉庵と称して延宝八年から元禄七年大阪で病没するまでここを本拠とし「古池や蛙飛びこむ水の音」等の名吟の数々を残し、またここより全国の旅に出て有名な「奥の細道」等の紀行文を著した。

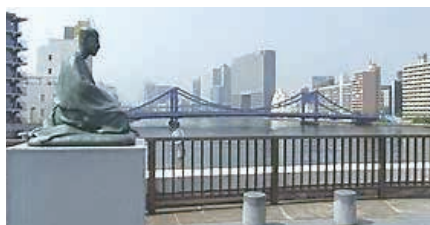
ところが芭蕉没後、この深川芭蕉庵は武家屋敷となり幕末、明治にかけて滅失してしまつた。

たまたま大正六年

津波来襲のあと芭蕉が愛好したといわれる石造の蛙が発見され、故飯田源次郎氏等地元の人々の尽力によりここに芭蕉稲荷を祀り、同十年東京府は常盤丁目を旧跡に指定した。

昭和二十年戦災のため当所が荒廃し、地元の芭蕉遺蹟保存会が昭和三十年復旧に尽した。

しかし、当所が狭隘であるので常盤北方の地に旧跡を移転し江東区において芭蕉記念館を建設した。



交通のご案内

西大島駅(都営新宿線)徒歩8分  
都営バス 大島1丁目・北砂3丁目から徒歩2分

一般社団法人 巨樹の会

江東リハビリテーション病院

TEL 03-6880-1555



〒136-0073

東京都江東区北砂2丁目15-15

FAX 03-6880-1556